



判決が届き、勝利の旗が並ぶ中で喜びを語る九州建設アスベスト訴訟原告ら

# アスベスト福岡高裁判決

# 国に11連勝

## 一人親方を救済 メーカーにも勝った

11月11日、福岡高裁で九州建設アスベスト訴訟の判決が下り、国・企業に賠償を命じ、一人親方も救済対象とする「全面勝利」と呼べる内容でした。首都圏建設アスベスト訴訟に結集する仲間が厚労省前、参議院議員会館で集会を開きました。

## 最高裁判決を待つことなく 速やかな解決求める

「(旗は)いくつ?」4つ来た。一人親方も勝った。大きな勝利であります。午後3時過ぎ、集会の司会の報告に、厚労省前に集結した仲間たちの歓声と拍手で沸き返りました。この日の判決は、国及び建材メーカー(A&Aマテリアル、ケイミュー、ニチアス、ノゾワ)の責任を認め、被害者への賠償を命じ、労働者だけでなく一人親方も対象にするという全面的勝利の内容です。福岡高裁判決で、国は、実に11回連続で裁判で断罪されたこととなります。

### 強化しよう 法廷外の闘争

九州から遺族原告が3人上京し、集会に参加。「1審では一人親方が差別された。今日の高裁判決ではみんなが勝



講演に聞き入る参加者

建設アスベスト訴訟勝利に向けたたたかいは分会で取り組まれていきます。10月25日、大田支部六郷分会は、蒲田キネマ、羽田分会と合同で、六郷地域力推進センターにおいて健康教室を行いました。その中で広がる被害者たたいの現段階でのポイ



新宿駅東口アルタ前で訴える栄さん

## ノーアベソング響かせて 国会前に市民1万人

「ノーノーノーノーノーアベ憲法改悪 日韓市民は連帯共に叫ぼう」。国会に向けてポップス調の「ノーアベソング」の音が響きます。11月3日、戦争させない・9条を壊すな! 総がかり行動実行委員会など3団体が主催する憲法集会が開かれ、1万人(東京土建は157人)の市民が国会正門前に集まりました。

【本部・宮内電平記】11月10日新宿駅東口のアルタ前で、バーが結集、今年で6年目となる宣伝行動・東京ジャックを行ないました。参加は26団体103人、東京土建は7支部15人でした。東京土建青年部は「長時間労働をなくそう」「8時間働けば暮らせる賃金を」など

## 青年部 労組の仲間と駅宣 「加入しよう」と栄書記長

試での英語民間試験導入は延期となった。このことは世論で政治が変わることを示した。萩生田「身の丈」発言や大臣の相次ぐ辞任など不正義、腐敗が噴出している。民主主義を取り戻すためにたたかおう」と述べました。韓国から訪れた市民団体の代表などがたたかいについてスピーチし、また立憲野党からは福島瑞穂(社民)、穀田恵二(共産)、逢坂誠二(立民)の国会議員が連帯のあいさつをしました。

アンケートでは、①月の給与(あといくら必要か)、②月の残業時間、③最低賃金はいくらが妥当か、④時給1500円になったら何をやる? 何人、③「最低賃金1500円以上」が44人、④「貯金したい」が22人となりました。各組合の代表が行なったり、レイトークでは、東京土建青年部の栄大翔書記長がマイクを握って建設労働者の現状と現場改善をすすめている組合活動を紹介、「若者の団結するチャンスは労働組合にある。新宿で働く若いみなさんも労働組合に加入しよう」と力強く訴えかけました。

## 田郷 分会レベルでも アスベスト闘争を学ぶ

企画したのは大田支部の田支部の部長の湯浅祐貴さん。「今年から部長になりました。支部で学習したことはあるのですが、多くの仲間が知っているには分会レベルでもやっ

## 更なる活性化を 公契約シンポに145人

【世田谷・書記・原孝行記】11月8日、世田谷区民会館にて、第11回世田谷区公契約シンポジウムを開催しました。当日は、区長、副区長はじめ世田谷区、区議会各党派、区内外労働・事業者など多くの方に参加いただき、総勢145人の参加となりました。



11回目の開催となります

今回のシンポジウムでは、「他の自治体から学ぶ」をメインテーマに据えました。世田谷区では現在、委託契約において職種別の労働報酬下限額設定について区長から諮問が出されています。多摩市と千代田区はいち早く職種別労働報酬下限額の設定をしていることから、多摩市は総務契約課から、千代田区は審議員が報告者となっていたり、各自自治体の条例の成り立ち、現状、今後の課題について報告いただきました。